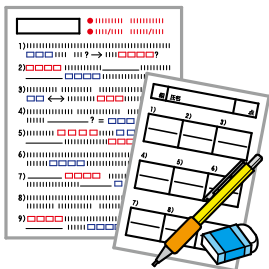


真鶴中学校だより 第二一八号

# 鶴からの手紙

2020.10.1  
責任者  
市川 麻美

一歩ずつ、  
あわてなくてもいいんです！

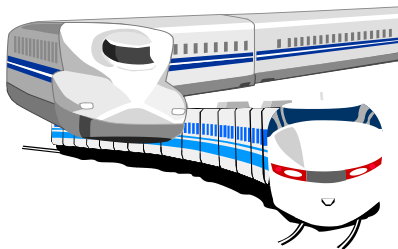


今年度初めての「定期テスト」が、九月十六日から三日間で行われました。一年生にとっては中学生になって初めて、相当緊張感を持って、テストの日を迎えたのではないでしょう。テスト時間中に教室近くの廊下を歩いていても、その緊張感が伝わってきました。お疲れさまでした。

今年度は、最初からずっと、「新型コロナウイルス感染症」対策に追われていて、社会全体で「自粛」「我慢」しなければならぬことが多く、誰もがストレスに感じていると思います。そして、何かとうまくいかなかったりして、不満に思ったり、苦しいと感じることが増えているかもしれません。困ったときの神頼みという言葉を聞いたことがあるでしょうか。人は苦しくなると、何かにすがりたくなるものです。（私には何度も経験があります：）



よく、お寺の掲示板にありがたい言葉が掲示されているかと思いますが、ある新聞に、仏教伝道協会が募集した標語の中の受賞作品が掲載されたそうです。その中に、テレビの人気キャラクターの台詞を逆手にとった「ボーツと生きてもいいんだよ」(石川県・恩栄寺)。「また失敗、またまた失敗、だから何!？」(島根県・円成寺)。その他、「ほとけさまに、圏外なし!」「のぞみは



頼み」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。人は苦しくなると、何かにすがりたくなるものです。（私には何度も経験があります：）



あきらめずに、時にのんびり「ボーツ」として、ゆっくりゆっくり前に進めればよいと思うのです。

生徒のみなさんは、テストの答えが返却されて一喜一憂したでしょうが、振り返りが済んだら、前を向いて次に進みましょう。



一年生は九月二十四日、三年生は二十八日に実施した校外学習についてのまとめを行っています。二年生も二十四日に一日かけてじっくりと総合的な学習の時間に取り組みしました。

## 授業改善の取組

毎日熱心に授業に取り組み生徒たちに応えるためにも、先生方もより分かりやすい授業が実践できるように、次のような目標をたて、研究、研修をしています。

未来を予測することが困難な時代に生きる生徒たちが、蓄積された知識を礎としながら、膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自らその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくことが求められます。そのためには、「生きる力」を具現化した「生きて働く『知識・技能』」「未知の状況にも対応できる『思考・判断・表現力等』」「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』」の資質・能力を、教育課程全般をとおして育んでいくことが求められています。

このことをふまえ、私たち教員は、「課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び」の視点から、このことに取り組んでいます。

先日行われた生徒会本部役員選挙の立会演説会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体育館ではなく、校内LANを活用したりモートにより各教室で実施しました。今後もさまざまな活動で応用できるよう研究を深めていきます。

### 地区中学校総体 陸上競技の部

八月二十九日(土)に小田原・足柄下地区中学校総合体育大会陸上競技の部が小田原城山陸上競技場で行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として、他の競技と同様、出場選手の人数を絞り、無観客での実施となりました。

応援の発声も禁止であったため、静寂の中を駆け抜ける各校の選手の足音や息遣いが広い競技場の中に響き渡っていました。

三年

自分は陸上競技が好きなので、大会に出場し、千五百メートル走に挑戦しました。大会に向けた練習で初めて千五百メートルを走ったときは、自分が思っていた記録にまったく届きませんでした。その次の日は少し記録がよくなったもの



の、その後は、いい記録が出ることはありませんでした。そんな中、大会当日を迎えましたが、一位の選手とあまり差のない記録を出すことができませんでした。次はもっと練習して、四分台の記録をめざしたいです。

### 伝統を受け継ぐ

はやいもので、令和二年度も後期に入ります。これまで、三年生が中心になって、生徒会活動をすすめて、伝統ある真鶴中学校を支えてきました。後期からは、二年生にそのバトンが受け継がれます。もちろん、そうは言ってもなかなか難しいことですから、二年生だけでなく、三年生と一年生とともに、新たな伝統を築いていきましょう。

### 〈学校全体への貢献〉

二年

そうじのときに、今まで以上にキレイにして、みんなが過ごしやすい



学校にする。また、学校のものを大切に扱う。

二年

二年後期だから、そろそろ自分たちが真鶴中を支えていかなければと思います。自分はさまざまな活動で真鶴中全体に貢献したいです。

### 秋の夜長

十月一日は、「中秋の名月」です。

「中秋」とは、秋の中でちょうど真ん中の日を指しますが、ここでいう「秋」とは、太陽太陰暦による秋のことです。昔の日本では月の満ち欠けと太陽の動きを基にした太陰太陽暦という暦を作り、農業や暮らしに役立てていました。いわゆる旧暦のことです。

今年の十月一日は旧暦でいうと八月十五日にあたります。旧暦では一月〜三月を春、四月〜六月を夏、七月〜九月を秋、十月〜十二月を冬とし、秋(七月〜九月)の中で、ちょうど真ん中の日である八月十五日の晩に上がる月のことを「中秋の名月」と呼んで、月を愛でるようにになりました(ただ、必ずしも満月とは限りません。満月は翌日の十月二日です)。



何百年も前の人たちも、同じ夜空や月の景色を眺めていたと思うと不思議な感じがします。



「中秋の名月」は「十五夜のお月さま」や「芋名月」と呼ばれることもありますが、「十三夜(栗名月)」「豆名月」も含めて、のんびりと月を愛でてみたいものです。

### 学習活動発表会について

本年度の学習活動発表会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる措置として、保護者や地域の皆さまの参観はご遠慮いただいたうえで実施することとしました。例年、多数の保護者や地域の皆さまに生徒の活動の様子や成果をご覧いただき、本校の教育活動をご確認いただくとともに生徒への温かい言葉をいただいているところですが、今般の状況をふまえ、ご理解ご協力くださるようお願いいたします。なお、保護者の皆さまには、九月二十三日付文書により詳細をご確認くださいようお願いいたします。